

令和6年2月

保護者 様

一宮市立木曽川東小学校
校長 石原 智徳

令和5年度 学校アンケートのまとめについて

余寒の候 保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日には、ご多用の中、学校アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの結果から、学校として特に参考にさせていただいた点について下記のようにご報告させていただきます。

なお、アンケート結果の詳細につきましては、本校のホームページに掲載させていただいております。今後とも、児童が楽しく登校できる学校、保護者や地域の皆様に信頼される学校をめざして、努力してまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 全体的な傾向について

対象児童の半数は進級や進学のため、昨年度とは入れ替っています。(昨年度の2年生は中学年に、4年生は高学年に)、また、本年度は新型コロナウイルス5類感染症への移行など学校・各家庭におけるいろいろなことへの影響・状況変化もありました。そのような状況下でも大人が冷静にみつめ、これからの時代に必要な対応はどんなことかを見極めていく上で、全体的な傾向をまとめ、昨年度の結果と比較することは重要だと考えます。

アンケートは、質問に対し、A「よくあてはまる」 B「ほぼあてはまる」 C「あまりあてはまらない」 D「全くあてはまらない」の4つの中から答えていただく形式で行いました。A・B合わせて「肯定的な回答」として分析します。

まず、児童アンケートでは、肯定的な回答の割合が80%を超えた項目は、20/30ありました。保護者アンケートでは、肯定的な回答の割合が80%を超えた項目は、13/23ありました。教員アンケートでは、肯定的な回答の割合が80%を超えた項目は、児童の実態に関する項目で10/16、自己評価に関する項目で35/50でした。

2 学習に関する項目について

学校として注目した点は下の通りです。児童アンケートでは、「国語の授業がよくわかる」「算数の授業がよくわかる」では全体的に割合が高い学年が増えました。基礎基本を大切にして基礎学力を定着させる学習指導を今後も行っていきます。なお、「宿題をしっかりとやることができる」を見ると、中高学年において自主的に取り組める児童が増えていると考えられます。

GIGAスクール構想により、一昨年からクロムブックが導入されました。クロムブックを活用した授業づくりをして、児童の興味・関心を高めていきます。また、自ら学ぶことのできる児童を育てていくために学校全体で教員の授業力・指導力向上に取り組んでいく必要があると考えます。

「国語の授業がよくわかる」 (%)			
児童	低学年	中学年	高学年
R5	90.5	89.1	94.3
R4	85.1	89.2	91.7

「算数の授業がよくわかる」 (%)			
児童	低学年	中学年	高学年
R5	88.5	89.7	84.5
R4	90.8	85.0	71.3



「宿題をしっかりとやることができる」 (%)			
児童	低学年	中学年	高学年
R5	89.0	89.7	92.3
R4	90.4	87.3	89.1

「お子さんは授業がよく わかると言っている」(%)		「学校は基礎学力の 定着に努力してい る」 (%)	「家庭学習など児童の 自主的な学習態度の育 成に取り組んでいる」 (%)	「学習に対する意欲 や興味・関心を高める 努力をしている」(%)
	保護者		教員	
R5	81.5	91.1	77.3	100
R4	76.5	90.3	77.8	96.6

3 生活面に関する項目について

(1) 思いやりのある子を育てていくために

思いやりのある子を育てていくために、毎年、人権教育や道徳の授業に力を入れております。異学年交流を再開し、児童の自発性を養いながら、思いやりの心を育てております。

学校では児童が一人一人の個性を認め合い高め合えるような指導を行い、家庭・地域の協力を仰ぎながら児童の豊かな心を育てていきます。

「いじめはどんな理由があ ってもいけないことだと思 う」 (%)			「学校はいじめや不 登校を防ぐ努力をし ている」 (%)		「一人一人の個性を認め合い高め合 えるような指導をしている」 (%)	
児童	中学年	高学年		保護者		教員
R5	95.1	98.0	R5	84.7	R5	87.5
R4	97.2	97.7	R4	81.8	R4	93.3

(2) 相談体制について

今年度も、学校生活を安心して過ごせるために、相談しやすい雰囲気作りに努め、事あるごとに学年ごと担任がまとまって対応し、ときには学校全体で取り組むことを何度か行ってまいりました。しかし、児童の悩みをまだまだ聞き出せていないと感じている教員もいました。児童にとって信頼できる学校を目指し、日頃から児童がより相談しやすいと感じる環境をつくっていくようにしていきます。

「困ったことや悩みがあったら先生に相談している」 (%)					保護者「学校は子どもや保護者の悩み 相談に親切にに応じている」 (%)
	低学年	中学年	高学年	教員から見た児童	
R5	76.0	64.1	59.2	84.4	89.2
R4	77.0	64.9	48.9	100	87.6

(3) 粘り強く取り組む力について

「何事にも最後まで一生懸命に取り組む」では、中・高学年の回答の割合が増えています。これは子どもたちが将来生きていくうえで、ぜひ身につけてほしい力です。できないことがあっても粘り強く取り組み、最後までがんばる強い心を育てていきたいと思ひます。

「何事にも最後まで一生懸命に取り組む」 (%)				
	低学年	中学年	高学年	教員から見た児童
R5	85.5	84.3	86.6	75.0
R4	90.3	82.8	79.0	66.7

